

## 2月は省エネルギー月間です

1人ひとりの小さな行動が、大きな効果を生み出す省エネ活動

省エネルギー月間とは、省エネルギー意識の高揚と定着を図るための啓発運動月間です。

2011年の震災以降見直しが図られているエネルギー政策に於いて、再生可能エネルギーの導入拡大及び節電・省エネルギーの推進はますます重要となっています。

今冬は厳しい寒さとなっており、2月は厳冬期でありエネルギー需要が増大することから、電力供給の増加が見込まれます。

また、4月1日以降、消費税および「地球温暖化対策のための税」の税率引き上げのため、電気料金単価が改定され、再エネ発電賦課金等の上昇も見込まれ、電気料金はさらなる負担増となります。

省エネルギー対策について、身近なところから、省エネ・節電の工夫を心がけましょう。

### 1. 衣の省エネ

長袖シャツとズボンのスタイルで快適な室温は22℃前後ですが、長袖セーターを1枚着ると、室温が20℃でも同じ快適性を維持出来ます。会社や家庭においては普段より一枚多く衣服を着用してウォームビズを実行し、快適性をアップしましょう。

### 2. 給湯の省エネ

入浴は間隔を開けずに。  
シャワーは不必要に流したままにしない。  
食器を洗う時は低温に設定。

### 3. 自動車

ふんわりアクセルエコスタート。  
最初の5秒で20km/hになるくらいのペース。

### 4. エアコン

冬の暖房の使用は20℃を目安に。  
暖房は必要な時だけつける。  
フィルターを月に1回か2回清掃。  
暖房時は風向きを下向きに上手に調整。  
厚手のカーテンで窓からの熱の出入りを防ぐ。  
室外ユニットの周辺に荷物を積んで吸込口や吹出口を塞ぐと性能が低下するばかりでなく、正常な運転が出来無い事があります。  
風通しの良い場所に設置しましょう。

### 5. 照明

省エネ型に取替える。  
(電球形蛍光灯ランプ或いはLED電球、LED器具)  
点灯時間を短く。  
こまめな掃除でいつも明るく。

### 6. パソコン

パソコンは使う時だけ電源を入れる。  
ディスプレイは明るすぎないようにする。  
(輝度を下げる)  
スリープモードを活用し、一定時間使用しない場合は、省エネルギーモードに切り替えるよう設定する。

### 7. 冷蔵庫

詰め込みすぎをなくす。  
空けている時間を短く。  
無駄な開閉はしない。  
設定温度を適切に。  
周囲に適度な隙間を設ける。

### 8. 洗濯機

纏めて洗い、回数を減らす。  
お風呂の残り湯を上手に利用し、洗う量が多い程、水や電気の節約が出来る。  
洗剤を多く入れ過ぎても、洗浄性能は殆ど変化無く、逆に溶け残りの原因となる。

### 9. 電気カーペット

設定温度は低めに。  
床に直に敷くと、熱が床に逃げて暖房効率が落ちるため、断熱マットを敷いて効率アップ。

### 10. 国際エネルギースタープログラム製品の活用

国際的な環境ラベリング制度で、OA機器で省エネルギー能率の高い製品に貼付されます。パソコン、ディスプレイ、プリンタ、コピー機、FAX、複合機が対象。  
国際エネルギースターロゴがついたOA機器は待機している状態が一定の時間を経過すると省エネルギーモードに自動的に切り替わる機能をもっています。OA機器の買い替えは、このロゴを目印にしましょう。

